

ニュースリリース

2026 年 8 月 17 日

メルク株式会社

※本ニュースリリースはドイツ・ダルムシュタット メルクが 2026 年 8 月 11 日に発表した英文ニュースリリースを日本語に翻訳し、補足の目的で一部加筆しています。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。英語版については、<https://www.sigmaaldrich.com/JP/ja/collections/press/expansion-singapore-lab-strengthen-biosafety-testing-service> をご覧ください。

メルク、シンガポールのバイオセーフティ試験ラボを拡大 アジア太平洋におけるサービスを強化

- アジア太平洋で初めて BioReliance®細胞株特性評価と GMP に準拠した次世代シーケンシングを展開
- 試験能力を強化し、同地域のバイオ医薬品企業のお客様に、迅速で感度が高く持続可能な試験を提供
- 業界における分子生物学的手法および動物を使用しない試験への移行を支援

2026 年 8 月 11 日、シンガポール – 世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業である Merck（以下、メルク）は、アジア太平洋地域のお客様向けの分析・バイオセーフティ試験サービスをさらに強化することを目指してシンガポールのラボを拡大し、本格稼働を開始しました。バイオセーフティ試験は、医薬品の開発・製造工程に欠かせないステップです。これによってバイオ医薬品の安全性、有効性、規制要件の遵守が保証されます。今回の拡張は、メルクが 75 年以上にわたり世界で培ってきた試験の専門的知見を土台とし、同地域の成長するバイオ医薬品業界に向けて、高度で現地に根差した試験受託サービスのポートフォリオを提供していく上で大きな節目となります。

メルクのライフサイエンス・ビジネスにおけるアドバンスト・ソリューションズ事業のグローバル責任者、パオロ・カルリは次のように述べています。「BioReliance®の試験能力をローカライズすることにより、アジア太平洋地域のバイオ医薬品企業のお客様が、開発期間を短縮し、業務効率を向上させ、変化する規制やサステナビリティの基準に対応できるよう支援します。この度の施設拡大は、業界屈指の分析およびバイオセーフティ試験サービスと技術的な専門知識の提供を通じて、医薬品メーカーを支援するメルクの取り組みを明確に示すものです」



ニュースリリース

シンガポールのラボは、アジア太平洋地域で初めて細胞株特性評価サービスや GMP 準拠次世代シーケンシング（NGS）を提供する BioReliance®の拠点となります。また、迅速なウイルス検出が可能な独自プラットフォームの Blazar®など、高度な分子生物学的手法も提供します。拡充後の施設では、高度な分子生物学的手法を通じて、業界が最先端のバイオ医薬品の品質管理試験および 3R の原則（動物使用の代替、削減、苦痛軽減）に移行できるよう支援します。

シンガポール経済開発庁（Singapore Economic Development Board）のゴー・ワンイー（Goh Wan Yee）ヘルスケア担当シニア・バイスプレジデントは次のように述べています。「メルクの BioReliance®ラボの拡張は、シンガポールと域内のバイオ医薬品企業に、世界水準の次世代試験サービスを提供します。メルクとの連携を今後も継続することで、シンガポールのエコシステムを強化し、地元人材の新たな能力構築を進め、患者の皆様に革新的な治療法を届けていきたいと望んでいます」

シンガポールの BioReliance®ラボは 2018 年に開設されました。拡張により施設総面積は 1,000 平方メートル超となります。今回の拡充は、メルクがより広範な戦略を進めるための重要なステップであり、アジア太平洋地域における活発なライフサイエンスのエコシステムを支援し、科学的進歩を促進するものです。本拡張により提供される高度な試験サービスは、日本国内のバイオ医薬品企業にとっても、開発初期段階からアジア太平洋地域内で試験を完結できる選択肢が広がることを意味します。

メルクについて

Merck（メルク）はライフサイエンス、ヘルスケア、エレクトロニクスの分野における世界有数のサイエンスとテクノロジーの企業です。約 62,000 人の従業員が、人々の暮らしをより良くすることを目標に、より楽しく持続可能な生活の方法を生み出すことに力を注いでいます。ゲノム編集技術を進展させることから治療が困難を極める疾患に独自の治療法を発見すること、また 各種デバイスのスマート化まで、メルクはあらゆる分野に取り組んでいます。2025 年には 65 カ国で 211 億ユーロの売上高を計上しました。

メルクのテクノロジーと科学の進歩において鍵となるのは、サイエンスへのあくなき探求心と企業家精神です。それはメルクが 1668 年の創業以来、成長を続けてきた理由でもあります。創業家が今でも、上場企業であるメルクの株式の過半数を所有しています。メルクの名称およびブランドのグローバルな権利は、メルクが保有しています。唯一の例外は米国とカナダで、両国では、ヘルスケア事業では EMD セローノ、ライフサイエンス事業ではミリポアシグマ、エレクトロニクス事業では EMD エレクトロニクスとして事業を行っています。

メルク株式会社について

メルク株式会社はメルクの日本法人として 1968 年に設立されました。基礎研究や医薬品製造、創薬などライフサイエンスに関わる製品・サービスを展開しています。メルク株式会社は、ライフサイエンス・ビジネスおよびメルクの管理部門を担っています。メルク株式会社の詳細については <https://www.merckgroup.com/jp-ja/company/merck-ltd.html> をご覧ください。

